

木ノ下裕一の

論

文化

伝統

京都芸術大学
舞台芸術研究センター
公開講座

「歌舞伎をつくりだす技」

●日程

2026年

9月30日(水)～11月11日(水)

毎水曜日ー全7回

13時40分～15時20分(開場13時10分)

【第一回】9月30日(水)

あわせる『二谷嫩軍記(熊谷陣屋)』を中心に

【第二回】10月7日(水)

もどす『夏祭浪花鑑』を中心に

【第三回】10月14日(水)

やりなおす『けいせい仏の原』を中心に

【第四回】10月21日(水)

みがく『義経千本桜(四の切)』を中心に

【第五回】10月28日(水)

けずる『盟三五大切』を中心に

【第六回】11月4日(水)

ほりおこす 猿之助歌舞伎を中心に

【第七回】11月11日(水)

まとめ「つくる」と「ついで」について

歌舞伎の名作は、生まれた時から現代まで、自動的にずっと名作でありつづけたわけではありません。初演でどんなに評判をとっても、そのあと埋もれた作品もあり、また、その逆もしかりです。つまり、「誰かが」常に演目を再発見し、メンテナンスし、

●講師

木ノ下裕一



時に大改造してきたからこそ「名作」になり得たのです。本講座では、名作たらしめている「誰か」の技術の数々を見ていきます。歌舞伎にかぎらず、様々なジャンルに通底する、ちょっとした「創作論」になるといいなと思っています。(木ノ下裕一)

●聞き手

田口章子

京都芸術大学名誉教授。博士(日本語日本文学)。研究領域は歌舞伎を中心とした伝統芸能。芸能・芸道をキーワードに日本人論、日本文化論を展開。「江戸時代の歌舞伎役者」で芸術選奨文部大臣新人賞受賞。主な著書に『歌舞伎を知れば日本がわかる』、『歌舞伎で日本文化論 伝統的思考法「見立て」「やつし」「もどき」など多数。

●会場 京都芸術大学 NA102 教室 ほか

※10/28(水)のみ会場が異なります。詳細は後日ご案内いたします。

学習意欲のある方なら、どなたでも受講いただけます

●お申込み方法

8月以降に劇場Webにて詳細をお知らせの上、お申込み受付を開始いたします。

受講料：10,000円(全7回／税込)

※京都芸術大学通学部学生は無料 ※定員に達し次第申込受付終了

●お申込み受付開始

2026年 8月4日(火) 10時から

お申込み・最新情報はこちら

<https://k-pac.org/events/16138/>

